

大学美術教育学会会員各位

2025年3月5日

大学美術教育学会誌「美術教育学研究」の科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）での即時公開に関する対応について

学会誌委員会委員長 小池研二

背景および提案

これまで、学会誌『美術教育学研究』の科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）での公開（48号（2016）以降）は出版後1年としてきましたが、2025年3月発行予定の第57号から即時公開に切り替えます。この変更は、2024年2月16日に統合イノベーション戦略推進会議で決定された「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」に対応するためです。公的資金による競争的研究費を受けた研究論文について、2025年度以降は出版後即時に機関リポジトリ等での公開が義務付けられるため、即時公開の対応が求められます。

学会会員の円滑な研究活動のためこの提案が必要と考え、3月4日の理事会にて審議のうえ決定しました。現在の投稿規程には1年後の公開については特に記入されていませんでしたが、以下の文言を明文化することにより、混乱なく変更できると考えております。

投稿規程の改訂

新たに以下の内容を投稿規程に明記します。

8. 論文等の公開

著者は、本誌からの出版後、著者最終稿を即時に機関リポジトリなどの公的なオンラインリポジトリから公開することができる。

*冊子体の刊行からJ-STAGE上での公開が完了するまでには、データの確認等の作業等のため、若干の準備期間を要します。

*著作権はこれまで通り学会が所有しますが、大学図書館のリポジトリなどに転載する場合は著者本人が転載し公表できます。

参考資料

2024年2月16日統合イノベーション戦略推進会議決定

学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針

https://www8.cao.go.jp/cstp/oa_240216.pdf

2024年4月25日・26日内閣府科学技術・イノベーション推進事務局

日本の学術論文等のオープンアクセス政策について

(学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた国の方針に関する説明会資料)

https://www8.cao.go.jp/cstp/oa_houshin_setsume.pdf